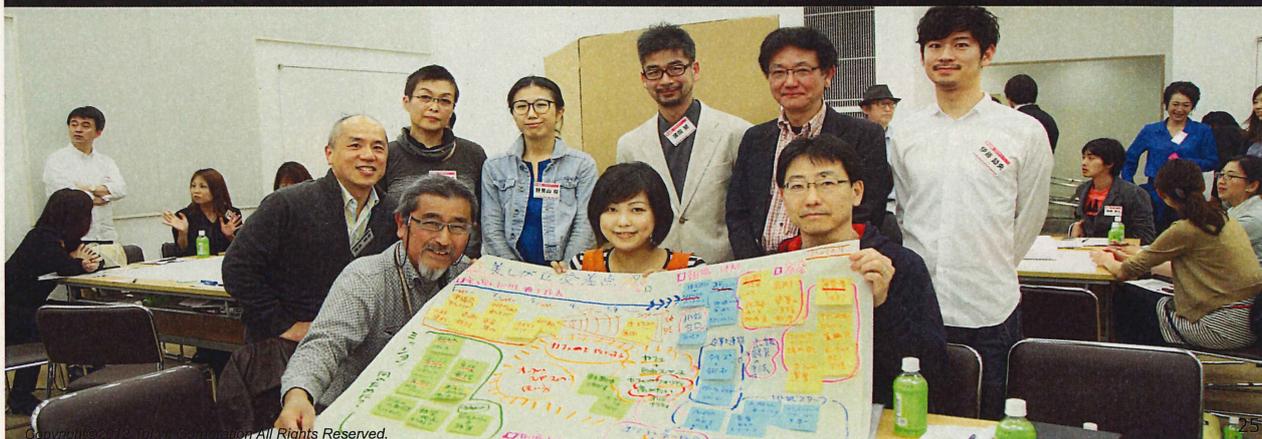


基本構想策定のプロセス

第5回 市民、企業、行政のコラボレーションを具体的に考えよう

第5回

2013年3月9日(土)【会場】たまプラーザテラス プラザホール 【時間】13:30~16:30



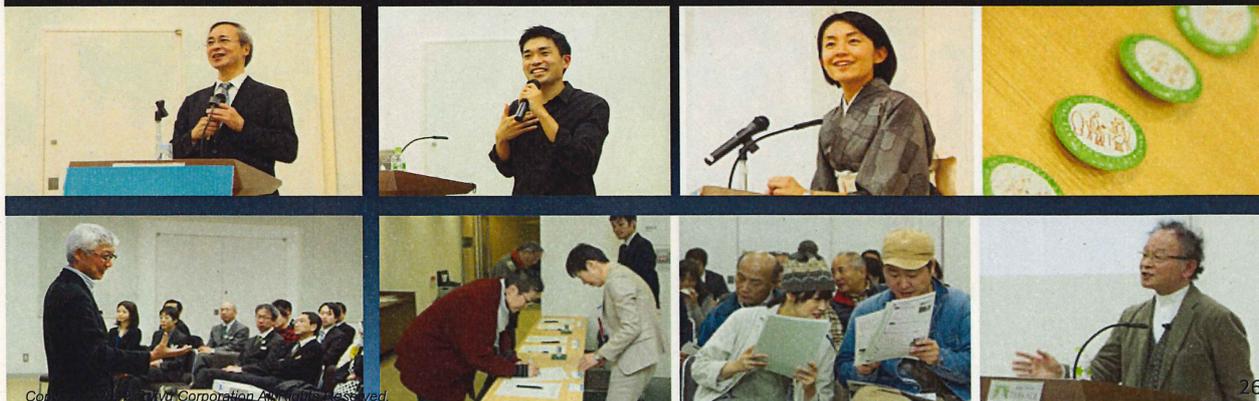
基本構想策定のプロセス



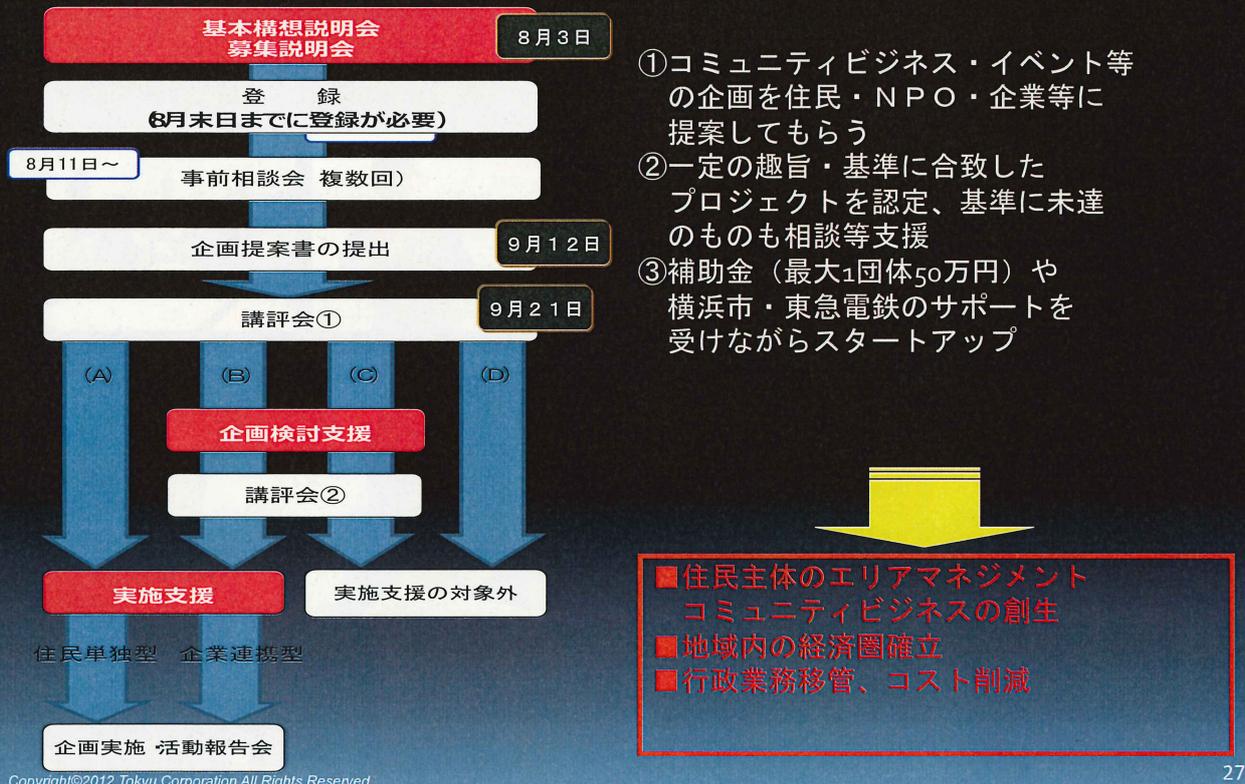
(2012年10月~)

- 第1回 「幻燈会 こんなまちに住みたいナ~まちの縁側物語~
- 第2回 「まちの保育園~地域コミュニティの現場から~」
- 第3回 「生活者視点のスマートコミュニティって?」
- 第4回 「生活を支える地域医療~超高齢社会のまちづくり~」
- 第5回 「あたらしい街づくりのか・た・ちを考える」
- 第6回 「仕組みをもった住まい方 コレクティブハウジング」
- 第7回 「住民主体のまち育て~日本型HOAのすすめ~」
- 第8回 「まちを使ってなにをしましょう?」

- 延藤 安弘氏
- 松本 理寿輝氏
- 久川 桃子氏
- 辻 哲夫氏
- 石田 秀輝氏
- 宮前 真理子氏
- 齊藤 広子氏
- 松田 朋春氏



3. 住民創発プロジェクト - リーディングプロジェクト(1) -



- ①コミュニティビジネス・イベント等の企画を住民・NPO・企業等に提案してもらう
- ②一定の趣旨・基準に合致したプロジェクトを認定、基準に未達のものも相談等支援
- ③補助金(最大1団体50万円)や横浜市・東急電鉄のサポートを受けながらスタートアップ

駅前広場を市民活動の場に：フラッシュモブ

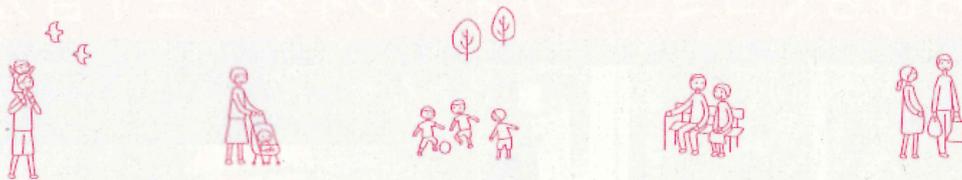


早朝からひらくコミュニティプレイス：三丁目カフェ



公共空間を活用した健康プロジェクト：たまヨガ





次世代郊外まちづくりとWISE Living Lab

— WISE Cityを目指して—



公共空間の活用とまちづくりの未来

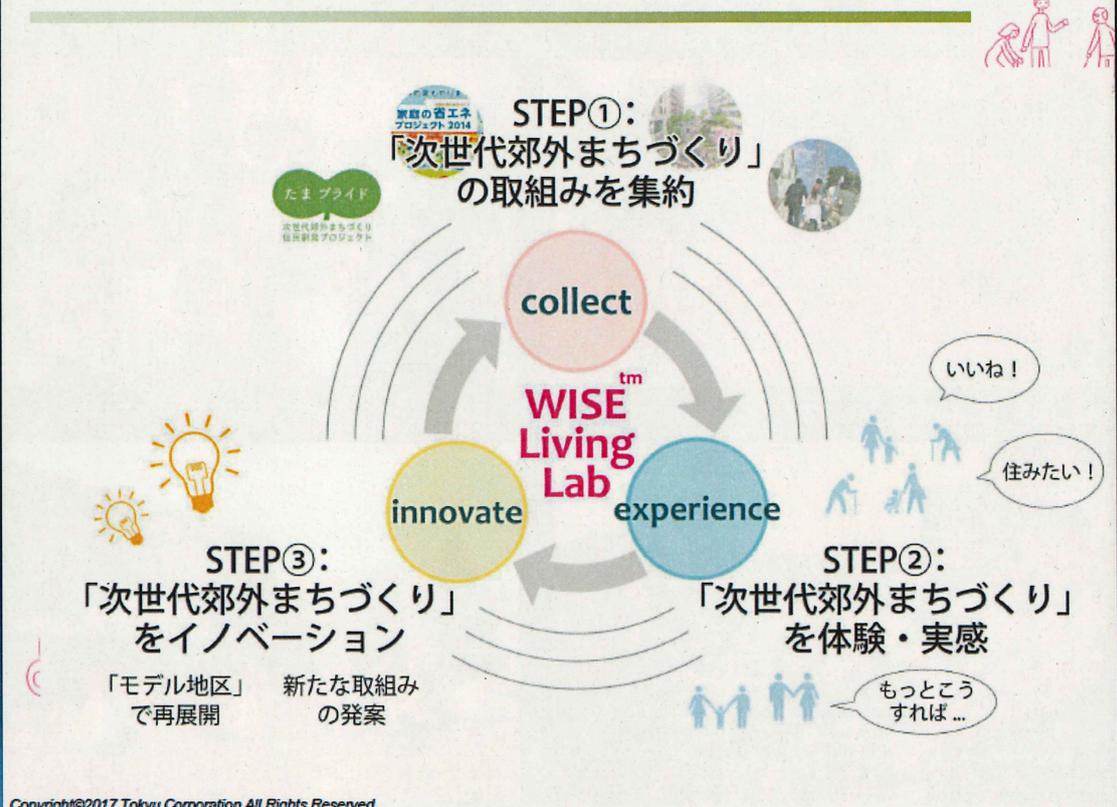
リビングラボ

Living Lab

社会実験の場
サービスのイノベーションの場
ユーザーとの共創の場
コミュニティ醸成の場

※Living Labの定義は諸説有

「次世代郊外まちづくり」 共創サイクルのイメージ



コミュニティ・リビングモデルプロジェクト ～WISE Living Lab

「次世代郊外まちづくり」が目指すWISE Cityの体現に向け、機能・役割を分担した3棟を一体としWISE Living Labを整備

西棟

中央棟

東棟

【西棟】暮らしのIoTラボ
・暮らしのIoTの実験の場
(コネクティッド・ホームアライアンス連携)

【中央棟】コミュニティと住まいのコンサル棟
・次世代郊外まちづくり活動の中心的な場所

【東棟】まちづくりと住まいのギャラリー棟
・コミュニティカフェ
・新しいライフスタイルの体験の場

WISE Living Labで行われる活動

まちぐるみの保育子育て(ファミリーリソースプロジェクト)



サポート企画(マルシェ)



健康まちづくり(健康セミナー)



コミュニティ醸成(朝ヨガ)



たまプラーザ版リビングラボの活動一例

まちづくり団体の“課題”を解決する

住民 × 企業



地域の新しい“移動”を考える

行政 × 企業



住宅地の“水・食・エネルギー”を考える

住民 × 大学

